



杉浦 康憲 議員

### 公共施設推進プラン 高浜小学校等 整備事業について

**問** 高浜小学校等整備事業で導入するPFIとは、どんな手法ですか。

**答** PFI法に基づき企画・計画段階で業務内容に関して求める性能を提示

し、発注した後、必要な資金調達をはじめ、設計・建設から維持管理や運営に至るまでの包括的な業務を長期にわたって民間事業者に委ねる方式です。一貫して行うことにより、コストの削減が可能です。

**問** 選定委員会により民間事業者から提案された内容を審査することなのですが、誰がどのように審査・選定されるのですか。

**答** 建設、PFI、教育に関連した学識経験者と、地域の特性に精通ということで、市職員で構成することを考えています。

**問** 市民に対しての説明責任を果たす意味から、先ほどの選定委員会に議員が委員になることは、

**答** 全国的に実施した事業において、内閣府のPFI推進室に確認したところ、議員の方が委員になっている事例はないということです。最終的には、選定委員会に判断を仰ぐこととさせていただきます。

**問** 私もPFI推進室に確認した所、事例はないが、法的には問題ないとのことでした。議会としても、オブザーバー等何らかの形で聞くことができるよう要望しておきます。また、審査の過程等については、できるだけわかりやすく公表していただければと思うが。

**答** わかりました。

**問** 勤労青少年ホームの跡地活用について、基本的な考え方は。

**答** 基本的にはスポーツの拠点を整備するというのを考えており、この施設整備につきましても、民間事業者の資金により整備していただくことを考えております。隣接して南テニスコートがあることから、このエリアに屋内プールを含め、民間によるスポーツの拠点を誘致したいというもので、平成31年度以降は、ここで高浜小学校の水泳授業を考えています。



小野田由紀子 議員

### 教育行政「チーム学校」 の推進について

**問** 学校教育現場での教員の勤務状況や業務内容について問う。

**答** テスト問題の作成や採点、成績処理や通知表、指導要録、学年会、指導部会、教科部会、保護者

との面談活動、家庭訪問、不登校対応、部活動など、教員は多忙な勤務状況にあります。

**問** 「チーム学校」の推進について問う。

**答** 学校が、地域社会の中で果たすべき役割を効果的、効率的に果たすために必要な組織運営体制のあり方や、教員の本来業務はどういうものなのか検討していくことは、学校教育の根幹に関わる問題で、今後さらに進めていく必要がある。来年度、一部の学校に主幹教諭を配置するなど、運営体制の改善を積極的に進めてまいります。

**問** 生活困窮者自立支援事業の進捗状況と、今後の取り組みについて問う。

**答** この制度の顔の要である自立相談支援事業は、毎月約10件、10カ月間の累計で97件の相談を新規に受け付け、課題解決に向けた支援を行った。就労準備支援事業は実績が0件。今後、秋田県藤里町などを参考に「福祉」ではなく「就労」を入口にする相談支援の仕組みを導入するなど、検討してまいりたい。子どもの学習等支援事業は、利用登録者36人。昨年9月から本年1月までの利用者数は、延べ370人となっています。新年度から、一人親家庭の小学生に対する学習支援と「ステップ」の対象を高校生まで拡大。子ども健全育成支援員を1名増員し、家庭訪問を積極的に行うなど、支援につながっていない子どもへの働きかけを強化する。

**問** 行政や地域住民、ボランティアとコミュニティーソーシャルワーカーが連携して取り組む仕組みづくりについて問う。

**答** 地域が抱えている課題に包括的な支援体制を構築するため、コミュニティーソーシャルワーカーがキーパーソンとなり、狭間のニーズを<sup>すく</sup>取り取れる人材の育成に取り組んでまいりたい。

### 生活困窮者自立支援事業について